



市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

こんにちは

日本共産党

力あわせて府政を変えよう！！

来年4月 知事選挙 尾崎望さん(小児科医)が出馬表明!! 何よりも、府民生活。



会場いっぱいの熱気につつまれたみやこめっせ。尾崎望さんの訴えに共感が広がった(写真上)。会場で西野さち子市議と尾崎さん(同右下)



11月19日の夜、みやこめっせで「世直し、府直し、大集会」が行われ、会場いっぱいの4千500人の参加者で埋まりました。

来年の知事選挙に小児科医の尾崎望氏(京都市医連会長)が立候補されると発表があり、本人が決意表明されました。貧困と戦争のない社会を実現したいと活動をされてきて、ベトナム戦争で枯葉剤のダイオキシン被害の調査にも参加されたそうです。そして、「無差別・平等の医療と福祉の実現」という綱領をもつ全日本民主医療機関連合会の医師になりました。日常の小児科診療の中で、家庭内暴力や教育

の行き届かない家庭のことも、不規則な生活、様々な障害に苦しむこともや家族の姿を見てきて、どの子も平等に教育や医療が受けられる社会が必要と頑張ってきた。国言いなりで経済効率優先の今の知事では考えられないことです。Xバンドリーダーもアメリカ力いなりです。京都府知事には尾崎望さんのような人が必要です。

敬老乗車証の改悪に反対! 2千筆の署名届ける

京都市は経費削減のためと敬老乗車証の改悪を狙っています。多くの市民

の皆さんから「せめて今のままで残してほしい」「毎日使っているので1回100円でも負担は重い。病院に行く回数を減らさなくては」と切実な声が共産党市会議員団に寄せられています。11月26日に第1回目の署名が年金者組合や地域から4545筆も届けられました。醍醐地域からは2000筆が届けられました。

た。市役所前で集會を開いた後、京都市に手渡されました。まだまだ署名は集まってきています。引き続き運動を広げましょう。



市政報告

小栗栖浸水被害の補償に9億4千万円補正予算

7チームで被害を受けられたお宅に回っていますが、全世帯を訪問するには時間がかかります。もっとチームを増やして早く補償を進める必要があります。そして、2度と同じ被害を出さない対策が必要です。西野さち子市議は、人災と認めながら補償に時間がかかっている事に対して、全庁体制で早急に進めるべきと議会で求め続けています。

老人保養センター(元余熱利用センター)の利用料値上げが提案

石田の元余熱利用センターの老人保養センターの利用料の上限を民間のお風呂と同じ料金の410円にするという条例が提案されています。

余熱利用センターの廃止が決まった時に「お風呂を残してほしい」と署名運動に取り組み、皆さんの声が市政を動かして、図書館と老人保養センターは残ることになりました。ところが京都市は、この機会に値上げするというのです。昨年は1日に188人の利用者がありましたが、値上げされれば、利用しにくくなります。地域の皆さんの具体的な利用料についてはこれからです。反対の声を上げましょう。

